



Haikou
拝啓

一夜限りの

はずが

女官 糸 才 王弟殿下

の申し込みは
想定外
です

1

presented by
Azutaka

あずたか



レテイシア
婚約を解消して
ほしい

レアドル殿下でんかに
そういわれたとき

正直少し
ホツとした

もちろん
シヨックも
あった

タタタ...

でもこれで
良かったんだと
思う

だって

殿下は全然
好みじゃないん
だもん

スタイリッシュ

一ツ年下

細身優男

私は
筋肉質の年上が
好きなんですっ



こんな感じの…

さし
し

いたた…

申し訳ない！

大丈夫ですか
レディー！

リアム王弟殿下！

おうてい



騎士団の団長で
その強さは有名
部下に慕われていて

リアム殿下は
現陛下の腹違いの
弟君

女性にも
紳士的とくれば
彼の後妻を狙う女性は
数知れず

本人は奥様を
早くに亡くしてから
後腐れない関係を
楽しんでるとか
いないとか…

実は私も密かに
憧れているひとり

彼目当てにこっそり
騎士団の訓練を
覗きにいったもいた

そんな殿下と
こんな時に
会うなんて…!!

レディー？
どこか
具合でも…

はっ

あと100周年

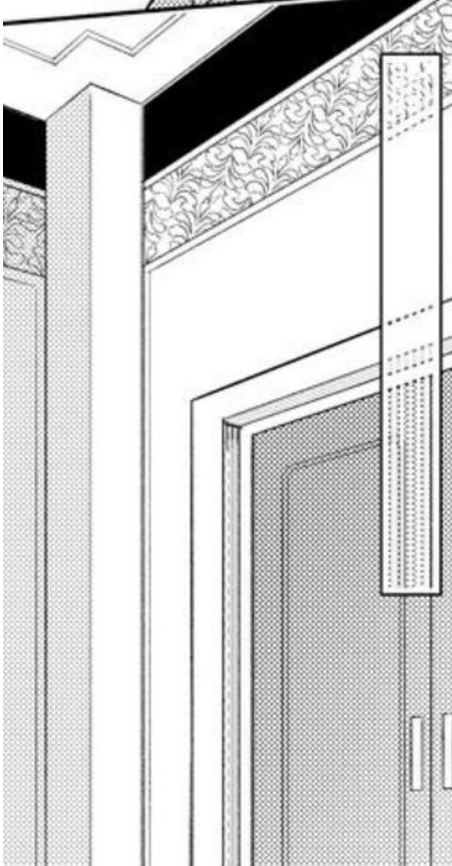
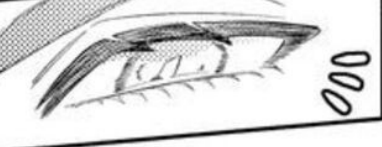
騎士団の100周年



失礼



いえっ
大丈夫で…



こんな軽々と…っ

ていうか
近い
胸板厚っ



きゃ——ッ

少しだけ
ガマンして
ください

スア
スア

軽い捻挫だと思えますが
あとで医者に見せるように

はい…

あなた
貴女は確か
第2王子の
婚約者だったな

なぜ
こんなところに
ひとりで？

婚約解消!?

何を考えて
いるんだ
アイツは…

いいんです

もともと
私なんかには
過ぎたお話でした

それに
私はあの方たちを
応援したいんです

シアンドル殿下は
みずからの気持ち
諦めなかった

物わがりの
いいフリをして

これが
「一番の幸せ」なんて
決めつけてた私とは
大違い

ああ私
前世からちっとも
成長してない

好みじゃないとか
何様よ

悲劇のヒロインを
気取る資格もないわ

貴女は
優しい方だ

え…



突然傷つけられて
それでも相手を
慮れるんだから

…ふたりを引き裂く
悪女になる度胸が
ないだけです

それでも
恨み言ひとつも
いう権利はある

私だったら
1発殴ってる
かも

ええっ

殿下に
殴られたら
大変なことに
なりそうですね

やっぱり

笑った顔のほうが
可愛らしい

可憐^{かれん}なしティーンに
哀^{かな}しい顔は
もったいない

さすが
プレイボーイ

見る目がない男に
こだわる必要は
ない

もっと素敵^{えん}な縁^{えん}が
貴女^{あなた}には
あるはずだ

縁

それなら
今の状況も
そうなのかな

こんなチャンス
きつと二度とない

あのふたりみたいには
なれなくても



ここで
頑張れたら

…本当に
そう思い
ますか？

もちろん

少しだけ
マシな自分になれる
気がするの

じゃあ…っ

私の処女…
もらってください…っ



かー

なんかいい方
間違った気が...!

え

お
落ち着いて
レディー

ヤケになつては
いけない

ヤケじゃ
ありません!



私はずっと
殿下に憧れて
いました!



でもどうか
一度だけ
情けをください

私のような地味で
可愛げのない女は
眼中にないと
わかっています



レディー
顔を上げて

やっぱり
無理だよ

ひく

...



前を向く
ために...



ほっ
本当ですか!?

美しいレディーに
そこまで頼まれて
応えないなんて
騎士が廃るさ



わかった



ヤ…

やり捨てて
くださって
かまいません
から!



すいません
そんな
つもりは…!

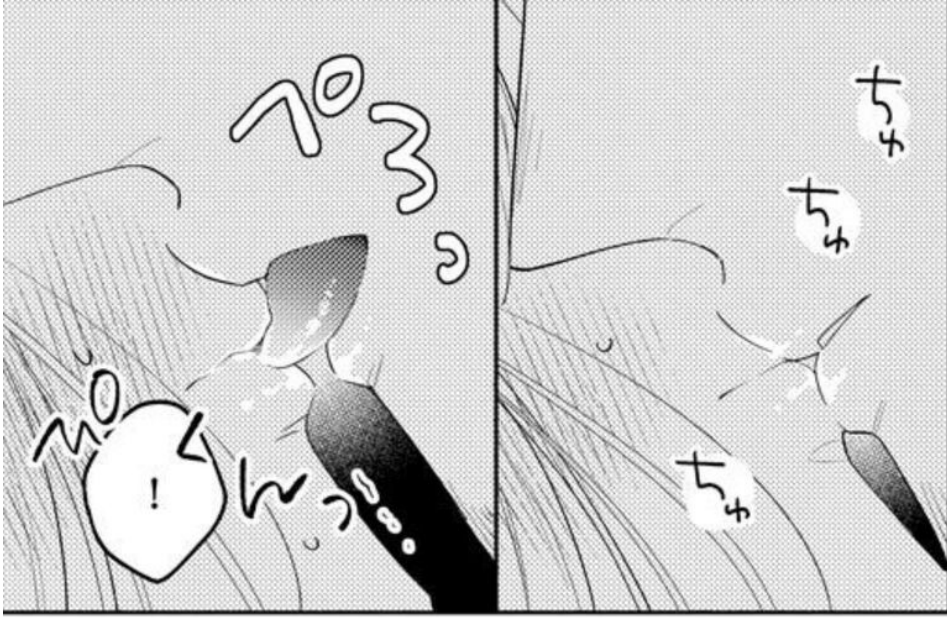
私はどれだけ
酷い男だと
思われているやら



ありがとう
ございます…!

やった…!







…太ってるから
恥ずかしくて…



あ…っ
だめ…!

ここを
触れられるのは
嫌?



ありがとうございます
ございます



そんなことは
ない

君はそのまま
美しいよ



なんでもない

レディーは意外と…いや

え?

ススッ

きゅっ!

せっかくだからレディーにも好きになってもらいたいし

大きくて力強い手
指も剣ダコで固くて

でも優しい手つき…

私今

たくさん気持ち良くしてあげよう

あう

んっ

本当にリアム殿下に
触られてるんだ...

自分で
触ったり
したことは？

しっ
しません！

可愛らしい声だ

...殿下に

触れられてると
思ったら

うれしくて

ガマン
できなくて...

こんなの
変ですよね...



「シティーは
思ったより
凶悪だな」

「えっ!？」

「大人を煽る
悪い子には
あお」

「ガニッ」



「もっと気持ち良く
なってもらわねば」

「ちゅらっ♡」



「あっだめ」

「ちゅらっ♡
もっ♡」

「ちゅらっ♡
もっ♡」

「ちゅらっ♡
もっ♡」

「ちゅらっ♡
もっ♡」

「ちゅらっ♡
もっ♡」



そこは…っ

大丈夫



きゅんきゅん…っ



もう
ビシヨ
ビシヨで

上手に
準備できて
いるよ



怖い…っ

レディー
こっちを
見なさい



刺激が
強すぎて



ほら
こっち

何これっ

俺の目を
見ていて

リアム様の
瞳を見た瞬間

あの時から
ずっと

気づいて
しまった

ただの憧れだった
目を逸らしてた
ことに

こんなにも
この人のこと

好き…

リアム様
好きなの

分不相応な
気持ちだ
わかってる

もっと
触って…

レディー？

でも
今だけだから



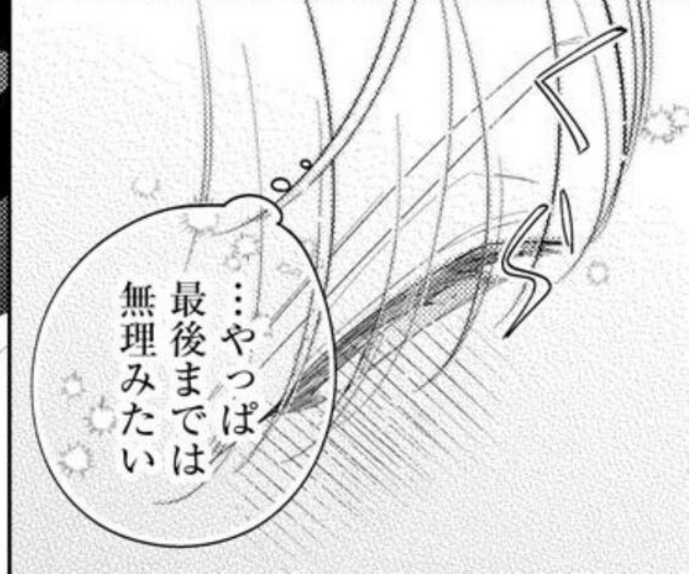
全部
忘れたくない――



残念だけど
じゅうぶん
胸がいつぱい

レディー？

…でも
叶いこなる



…やっぱ
最後までは
無理みたい



あなたと
結婚したかった…

な…

レディー？



レディーのためには
良かったと
いふべきか

おやまれ

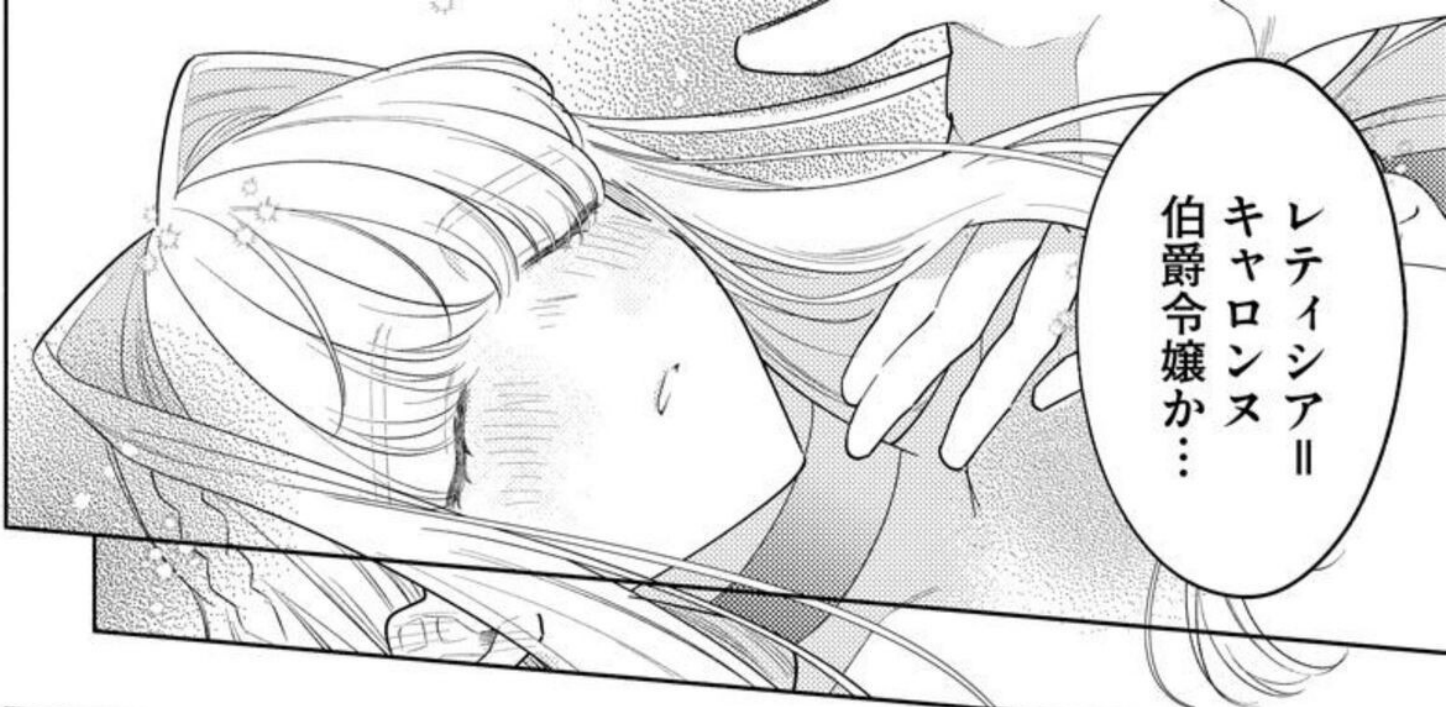
少し残念と
いふべきか




……




気を失ったのか
無理もない
いろいろ大変
だっただろう



レテイシアⅡ
キャロンヌ
伯爵令嬢か…



あの夜から
1カ月たった



レАндル殿下との
婚約はつつがなく
解消された

お父様は
怒っていたけれど

私は
スッキリした

ふたりも
大変だろうけど
私もこれから
どうなることやら

リアム様とは
あれ以来
会っていない

寂しいけれど
当然だ

ただ

困ったことが
ひとつ

—レディー—

は
…

時折あの時の
熱を思い出して

可愛らしい
ですよ

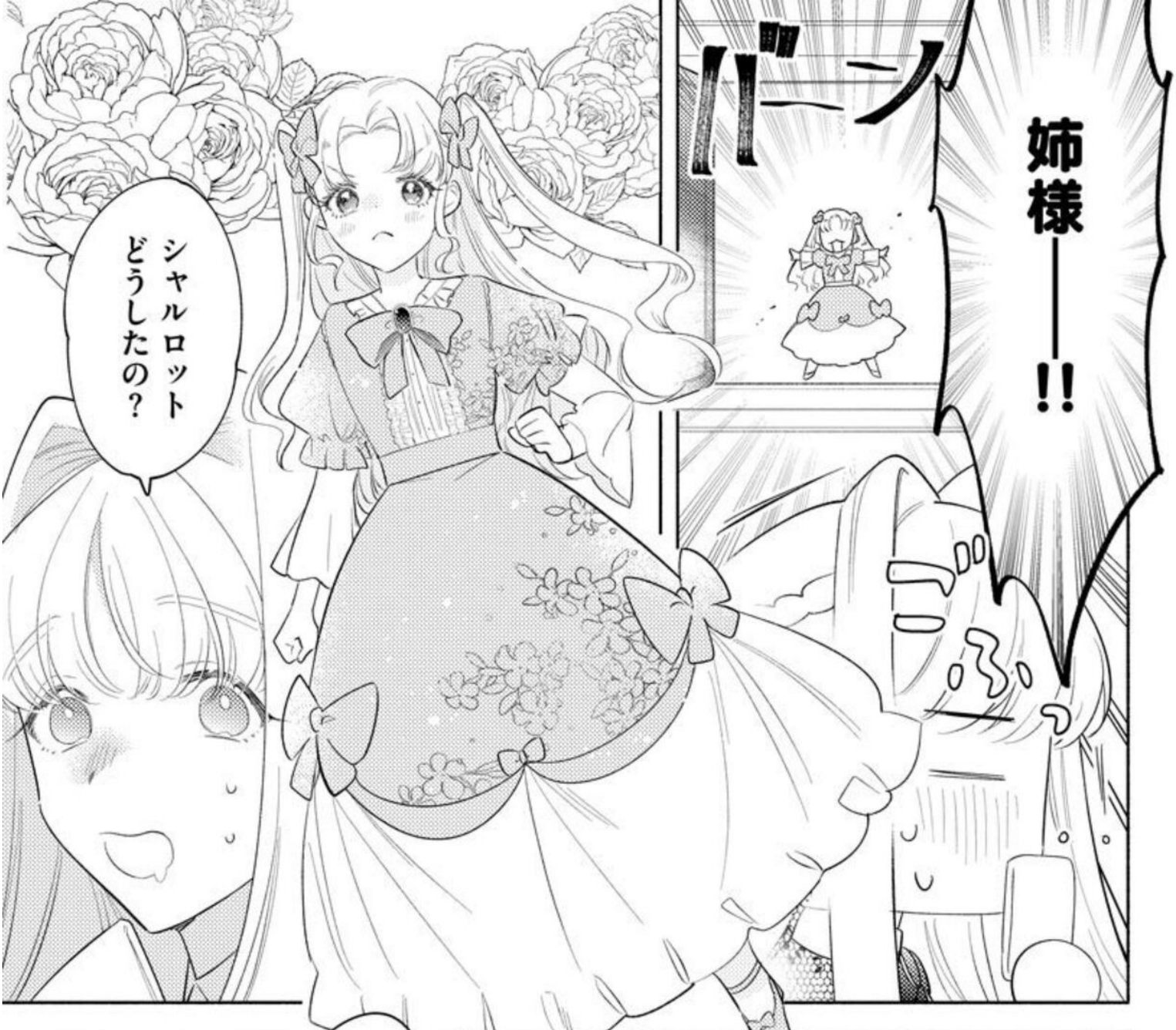
身体が
疼うずいてしまっ

レディー

リアム様…っ

は…

カタカタ…
カタカタ…



姉様——!!

シャルロット
どうしたの?



姉様の
次の縁談相手よ!

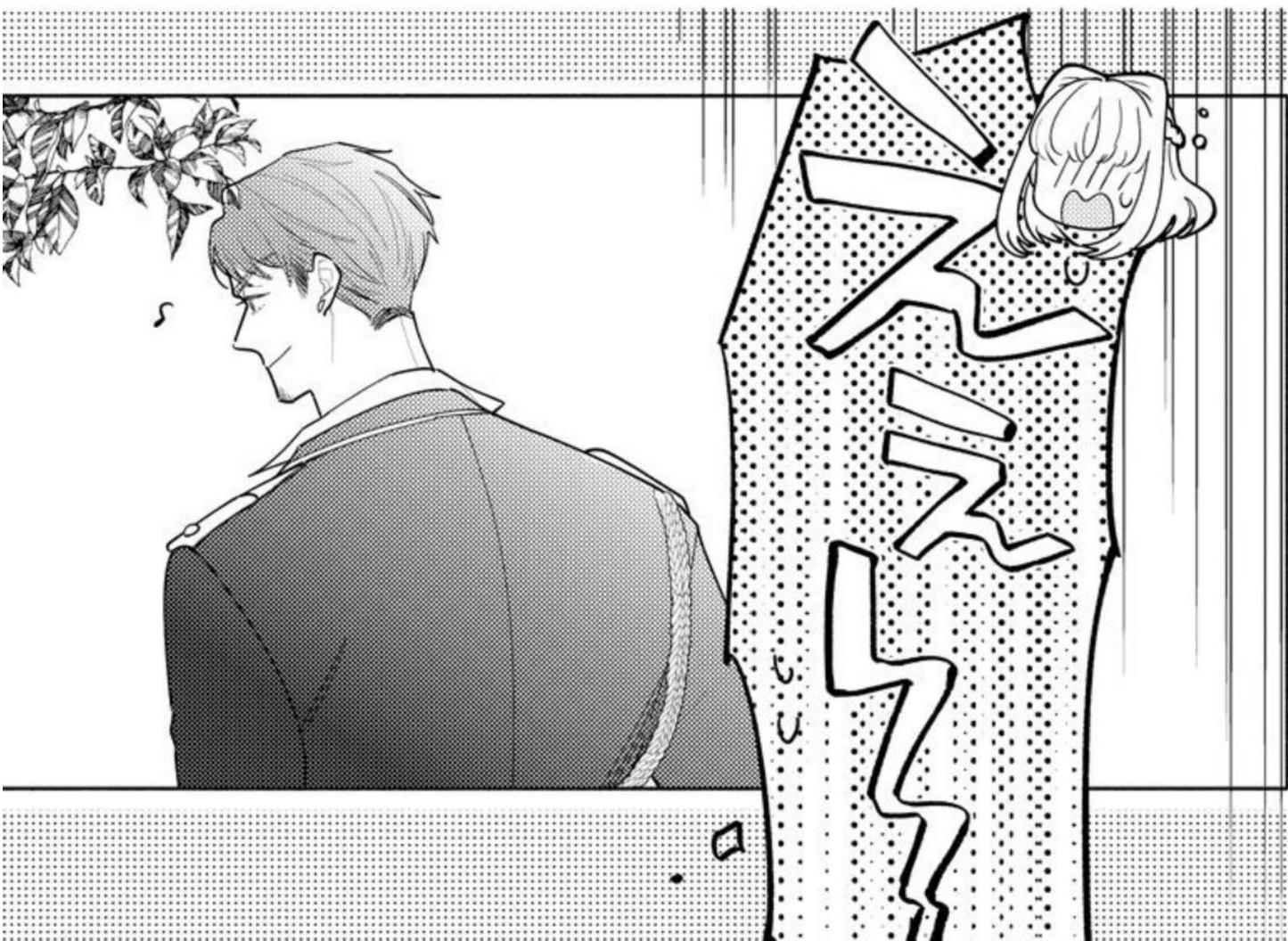


どうしたのじゃ
ないわ!

大変です!
わたし聞いて
しまったの!

ううん
何を?





毎月29日
発売

オナ女子共感度 No.1
リアルHコミック誌



無敵恋愛
エス☆ガール
S*girl
【無敵恋愛S*girl】

極上ミダラなHもハッピーHも♪
TLコミック誌!!

毎月第1
木曜配信



禁断
オナダラHもハッピーHも♪
【禁断Lovers】

ぶんか社の
コミック誌

毎月第4
金曜配信

Hもドキドキもカワイイも♥
女の子の“好き”が詰まってる!



Crow
【ラブキス! more】

愛され女子のための
甘きゅんTLマガジン

毎月第2
木曜配信



Anette
【無敵恋愛S*girl アネット】アネット

発行所 株式会社ぶんか社

〒102-8405

東京都千代田区一番町29-6

www.bunkasha.co.jp

※本作品はすべてフィクションです。実在の人物・事件・団体等には一切関係ありません。
※本書の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、転載、改竄、上演、
放送および公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、著作権法上の例外を
除き禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードな
どの著作権保護技術を解除して行うことはできません。